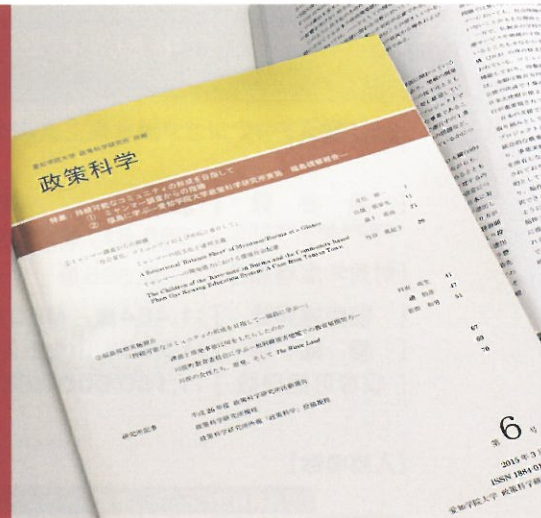


研究所探訪

政策科学研究所

所長 岩田和男



本研究所は、2008年4月に総合政策学部へ付置されました。今日、「市民的公共性」がキーワードになり、市民共通の関心・利益に沿った政策を市民・NPO・自治体・政府の対等協力関係で実現することが求められています。こうした社会的要請に対する学問的な寄与を目指し、政策科学論・公共政策学の構築、市民的公共自治の究明、複合リスク社会の解明といった三つの研究課題を掲げています。研究所は、他大学・研究機関のみならず、自治体職員との連携を図るなど実務と研究を架橋しながら活動を行い、その成果を地域社会と世界に向けて発信することを使命としています。

これまで、アジア諸国やヨーロッパから研究者や自治体関係者を招き国際シンポジウムを二度開催し、また複合リスク社会研究に向けた基礎的ヒアリングを行いました。また、「持続可能な地域社会形成と公共政策の変容と展開」および「ローカル共生コミュニティ創出の総合政策学的収斂アプローチ」の二つのプロジェクトに継続して取り組み、日進市民の参加意識や福祉コミュニティ意識の調査及びその結果に基づくフォーラムの開催、東日本大震災を契機に強まった防災意識とローカル共生コミュニティづくりの関連を模索するシンポジウムの開催、イタリア・ドイツの都市視察、アジア・ミャンマー、韓国の視察を行い、持続可能な地域社会形成のための重要な示唆を得ることができました。蓄積できた知見をもとに、「持続可能なローカル共生コミュニティ創出」を目指した国際シンポジウム開催に向けて、話し合いを進めております。

資料閲覧をご希望の場合は、総合政策学部教務主任室(12号館6階)までお問い合わせください。しかし、目下の課題がまさにその情報公開です。少ない人的資源を有効に活用して、求められる閲覧・検索可能な図書資料の整理とウェブサイトの充実に努力したいと考えております。

